

「審議会等の会議結果のお知らせ」

第4回佐賀市協働指針策定市民会議の会議結果について

平成20年10月24日に開催しました会議の概要は下記のとおりです。

記

- 1 **開催日時** 平成20年10月24日(金) 午後7時00分から午後8時30分
- 2 **開催場所** 大財別館4-1、4-2会議室
- 3 **出席者**
〔佐賀市協働指針策定市民会議委員〕 12名
上野景三会長、富吉賢太郎副会長、石田美恵子、大野博之、川副知子、
小林紀、伊東史朗、徳永浩、西山新太郎、多良淳二、白木紀好、吉村重幸
〔事務局〕 8名
市民生活部長 横尾徹
市民活動推進課 西川末実課長、木島慎治、広瀬徹、前田賢一郎、橋本京子
総合政策課 伊東博己課長、武富将志
- 4 **議題**
 - ・前回の(第3回)市民会議内容について
 - ・第3回庁内ワーキンググループ会議内容について
 - ・(仮称)佐賀市の参加と協働をすすめる指針(案)について
- 5 **会議の公開又は非公開の別** 公開
- 6 **非公開の理由(会議を非公開とした場合に限る。)**
- 7 **傍聴者数(会議を公開した場合に限る。)** 3名
- 8 **議事前の進行**
 - ①横尾市民生活部長あいさつ
 - ②上野会長あいさつ
- 9 **発言の内容**
 - 前回の(第3回)市民会議内容について
 - 【事務局説明】
 - ・協働指針の発信者については、佐賀市とする。
 - ・「市民」「市民団体」「企業」「行政」などの取り組みに関わる人へ向けて発信をする。
 - ・構成を見直すことで、各章のつながりがわかりやすくなるのではないかというご意見を受けて、構成を見直すことにしていた。
 - ・第4回の市民会議の指摘・提案事項を反映したものを、各委員の所属する団体等で内容について討議し、次回の会議までに意見を集約していただく。

■第3回庁内ワーキンググループ会議内容について

【事務局説明】

- ・わかりやすい指針になった。
- ・佐賀市の協働は、協働化テストと明確な区別を行い、「コスト削減」と「公共サービスの担い手探し」とは分けて考える。
- ・佐賀市では、地域の団体が核となっている。
- ・協働は、行政が市民団体へ下請けという誤解があるので、協働の定義を「言葉の意味を知る」などでしっかり共通認識をもちたい。
- ・団体が、協働は行政と一緒になんでもやってくれるという誤解がある。
- ・協働は、市民活動支援ではないことを伝えたいが難しい。
- ・全体の構成(各章のつながり)について改良の余地があるのではないか。

■(仮称)佐賀市の参加と協働をすすめる指針(案)について

【事務局説明】

(変更、追加点の説明)

- ・4編の構成に変更し、第1編を課題編、第2編を基礎編、第3編を実践編、第4編を解決編とした。
- ・本指針の構成と特徴についての説明を追加している。また各章の流れを表すフローチャートを追加した。
- ・付編を指針(案)とは別に作成し、Q&A集及び事例集を掲載した。
- ・協働になじみやすい取り組みの具体例を第3編第4章(P47)に追加した。
- ・「まちづくり」という言葉については、内容を整理し統一的な流れにした。
- ・指針(案)では含みをもたせないように、「～等」という表現をほぼ削除した。
- ・協働の取り組みのサイクル図(第3編3章の最後に掲載)については、手書きのイメージ図(別紙)を提示した。

(討議事項について)

- ・市民活動に取り組む人が、自分の位置を捉えやすいように鳥瞰図の追加について、会議のなかで委員から提案してほしい。
- ・協働とはこのようなものであるということがイメージできるような図について、会議のなかで委員から提案してほしい。
- ・協働の取り組みへの期待となる5章をより魅力的にする点については、指針(案)でいうと25から26ページが基礎(ベース)となると思うが、会議のなかで委員から提案してほしい。
- ・協働のPDCAサイクルが図で表現できないかイメージした手書き図を配布しているので、委員の意見がほしい。

【討議】

(会長)事務局からの説明を受けて、協議に入りたい。

(委員)本編である指針(案)と付編はひとつの冊子として作成するのか。

→(事務局)本編と付編をセットにして配布したいと考えている。本編である指針(案)は、内容を4年ごとに見直しをしていきたいと考えているが、Q&A集及び事例集を掲載する付編については、もっと短期間で修正をしていきたいと考えている。

→(会長)Q&A集及び事例集を本編と別編のどちらに掲載するかについては、作りこみの部分なので、事務局で協議してください。

(委員)協働の取り組みのサイクル図(第3編3章の最後に掲載)については、今回事務局が提示した手書きのイメージ図が大変わかりやすくいいと思う。

→(会長)上に行くにしたがって、枝がでてきているような感じでもいいのではないか。

(会長)事務局から問題提起のあった「はじめに」の最後の部分に発行主体をどのように入れるかについては、佐賀市のみ、佐賀市長、佐賀市長と市民会議の連名などが考えられるとのことだが、いかがか。

→(委員)付編に市民会議の経緯、名簿が掲載されているし、市民会議自体が来年の3月末までなので、「佐賀市」と記載すればいいのではないか。

→(会長)指針作成のプロセスで市民会議がかかわったというのがわかるようになっていたらいいのではないか。

⇒全体で承認される。

(会長)全体の構成を大きく変えて、4編10章構成にした点についての意見はないか。

→(委員)よくなったのではないか。

⇒全体で承認される。

(会長)47ページの具体例については、具体例を掲載したほうがいいのかという意見と、あまり具体的な事例を掲載すると協働のイメージが固定化するのではないか、という意見もあったが、今回事務局が提示したものはいかがか。

→(委員)具体例を増やすことは可能なのか。

→(事務局)協働事例が、複合的に取り組まれているので、47ページの6つのパターンにあてはめるのが困難である。

→(委員)具体例を47ページにあてはめるのが難しいのであれば、最小限にとどめておいて、事例が複合的に取り組まれていることと、はじめ(入り口)はひとつのパターンだが、複数のパターンに発展の可能性があるというような「注釈」を記載したほうがいいのか。また、もっと詳しく知れた

い場合は付編の事例集で確認するよう記載したらどうか。

→(委員)掲載してある事例がテーマ型の活動団体の事例ばかりである。バランスを考え地縁団体の事例も掲載したほうがいいのではないか。

→(委員)事例には、行政と団体の協働事例となっているので、団体と団体、企業と団体の事例がない。必要ではないか。

(会長)付編についての意見はないか。

→(委員)語尾などの表現がバラバラに感じる。

→(委員)本編に合わせた順番にしたほうがよいのではないか。

→(会長)質問の答えの部分が長いところは、短めにしたほうがよい。

(会長)協働のイメージ図についての意見はないか。

→(委員) NPO等の中に地縁組織、企業の中に協同組合の図があってよい。

(会長) NPOの言葉の中に含む団体について、図同士の関連性がない。P18の図は、地縁組織とテーマ型組織が同じ大きさでよいのか。各団体の現状について、佐賀市の現状を投影したい。

(委員)擬人化して、行政マンやNPO、企業が(同じ畑で)水をやって花をめでるような図があると協働をイメージしやすい。

(会長)第2編第4章「それで何が変わるのか」(P25, 26)について、何か意見はないか。最後の第4編とのつながりを考えると、「みんなにとって何が変わる」というものを追加したほうがいいのではないか。

→(委員)市民の立場から考えると、協働をすすめることで「活躍の場が増え」、その結果、公共サービスが増えるのだから、掲載する項目の順番を変えてはどうか。

→(委員)企業メリットの部分が少し弱いのではないか。

→(委員)(3)②「企業活動そのものの持続性が図られたりします。」(P26)とあるが、企業活動の持続性とは別物ではないか。

→(委員)社員が社会貢献活動に参加することで、個人の社会性が向上し、社会力も向上する。また、社員のつながりも強くなる。結果として、それがビジネスチャンスや企業イメージの向上につながっていくことをもっと押し出したほうがいいのかもしれない。

→(会長)この章のすべてにいえるのかも入れないが、「協働」によって何が変わるということを意識して記載したほうがいいのではないか。

→(委員)特に行政の部分については、表現が謙虚すぎるのではないか。

(会長)第4編についての意見はないか。

→(委員)「みんなが」ではなく「みんなで」目指すに変更したほうがいいのではな

いか。(P51の(1)の部分)

→(委員)この編の内容を読んでも、解決に向けてがんばろうという内容が書いてあるので、「解決編」ではなく、「未来編」のほうがあっているのではないか。

→(委員)第4編第1章の「これから目指すこと」を考えるの部分は、「目指すこと」と目標のように取れるので、「これからの歩みを考える」、「はじめの一步」又は「これからの一步」があっているのではないか。

→(委員)第4編第1章(1)の表現が硬い。

→(委員)第2編第4章と、第4編第1章の項目について、整合性をとった方がいいのではないか。

■今後の進めかたについて確認

①11月14日(金) 事務局で修正をしたものを各委員に送付する。その際、事務局が特に確認してもらいたい項目について、アンケート形式の質問書を添える。

②12月 1日(月) ①を集約したものを事務局へ返送してもらう。

③12月19日(金) 第5回協働指針策定市民会議

※②で集約し、提案内容を反映したものを最終指針(案)として提出する。

10 今後の日程

・第5回市民会議について

12月19日(金)18時30分～19時30分

アイ・スクエアビル5階大会議室

11 問い合わせ先

佐賀市 市民生活部 市民活動推進課 市民活動推進係

担当 広瀬・前田

電話番号 0952-40-7078